

大和合金 航空機向け 18年販売量 7割増目指す

銅合金の鍛造・押出品 内外で需要旺盛

銅合金の鍛造・鍛造 航空機向け材料の販売
品メーカーである大和 数量を、前年比で7割
合金(本社・東京都板 拡大させる。同社では
橋区、社長・萩野源次 航空機向けを注力分野
郎氏)は2018年の 位置付け、ブッシュ
とされる円筒形の鍛 米州や中国、日本国内
造・押出品を部品メー にある既存顧客への供
給も拡大。販売が大幅
に増える見通しとなっ
ている。グローバルな
欧州市場が堅調な中で



大和合金のブッシュ

受注増に対応して、溶解鑄造炉の増強や押出
工場の生 製のアルミ青銅や高力黄銅
産性向上 欧州では航空機の製造
などで供 が増えており、現在需
給能力を 要が旺盛。さらに品質
増強して 力や納期対応力が認め
ている。 られ世界大手の部品メ
同社で ーメーカーからの認定が拡
は航空機 大しており、今後はさ
の足回り らに欧州での販売増が
に使う軸 見込まれる状況となっ
受け用に ている。

米州の部品メーカー
向けにはこれまで補修
に使用するブッシュを
販売してきたが、新造
機向けの供給も開始。
さらに日本国内向けで
は旺盛な海外の航空機
需要を受けて顧客の輸
出が拡大している。中
国向けについては補修
用の部品で引き合いが
増加しており販売増を
見込んでいる。

大和合金 17年度 売上高2割増、53億円 過去最高 航空機・半導体向け好調

大和合金の2017 受けて増益している。
年度の売上高は前年度 航空機向けは欧州な
比2割増の約53億円と ど海外を中心に販売を
なった。航空機や半導 拡大。半導体関連材料
体関連の販売が拡大。 はデータセンター向け
さらに建機や自動車部 の需要や、自動車の先
品向けの製品も堅調だ 進運転技術の普及など
った。前年度に続き過 を追い風に受注を伸ば
去最高を記録。経常利 している。建機向けは
益については販売増を 技術を生かした提案活

動で販売を増やし、自 8年度は好調だった前
動車部品向けの鑄造品 期からさらに1割程度
は顧客の海外販売が拡 の売り上げ増を見込ん
大して伸びた。201 ている。

世界的な受注増に対
応するため製造会社の
三芳合金工業では本社
工場(埼玉県三芳町)
で溶解鑄造炉を1基更
新したほか、熱処理工
程を増強。さらに押出
工程を有する朝霞工場
(埼玉県新座市)では
製造キャパを広げるた
め、外部のコンサルタ
ントと連携した改善活
動や設備面での工入
れを進めていく。